

# 令和8年 浜田警察署速度取締指針

## 速度取締り指針とは

各警察署による交通事故実態等の分析結果に基づき策定した取締方針のうち、速度取締りなど重点的に交通街頭活動を実施する路線や時間帯等を県民の皆様と共有するため、警察署等の単位で明らかにするものです。

## 重点路線等における街頭活動の基本

- 速度取締りの実施（定置式、可搬式の活用）
- パトカー・白バイによるレッド走行の実施
- その他、交差点関連違反取締りなど交通事故に直結する取締りを実施

## 交通事故実態等の分析結果

### 1 過去5年間の交通事故発生状況（令和2年から令和6年）

過去5年間の人身事故発生件数は、216件

#### (1) 路線別

国道9号で95件（44.0%）、国道186号で25件（11.6%）と国道で120件（55.6%）発生し、次いで市道で60件（27.8%）、県道・主要地方道で24件（11.1%）発生している。

#### (2) 時間帯

昼間（日の出から日の入り）が178件（82.4%）と大半を占めている。

また、8時から10時と10時から12時が38件ずつ（17.6%）発生し、16時から18時が37件（17.1%）と通勤・帰宅時間帯及び午前中の発生が多い。

#### (3) 事故類型

追突事故が68件（31.5%）、出会い頭事故が55件（25.5%）、人対車両が44件（20.4%）発生している。

国道9号、186号では、追突事故が56件（46.7%）と多く、次いで人対車両19件（15.8%）、となっているが、市道では、出会い頭事故18件（30.0%）が多く発生している。

#### (4) 事故原因別

前方不注視・動静不注視が78件（36.1%）、安全不確認が30件（13.9%）、横断歩行者妨害等が18件（8.3%）、信号無視が17件（7.9%）と確認不足が原因の事故が143件（66.2%）と3分の2程度を占めている。

### 2 令和7年の人身交通事故発生状況（10月末）

人身事故発生件数、死傷者数とも大幅に減少した令和6年と比較して増加している。

#### (1) 路線別

国道16件（59.3%）～国道9号13件（48.1%）、186号3件（11.1%）

県道・主要地方道4件（14.8%）、市道4件（14.8%）、その他道路等3件（11.1%）

#### (2) 時間帯別

昼間22件（81.5%）、夜間5件（18.5%）

8時から10時までが5件（22.7%）、10時から12時が6件（27.0%）、次いで12時から14時、14時から16時までが各4件（18.0%）

- (3) 事故類型別  
追突8件(29.6%)、出会い頭6件(22.2%)、正面衝突5件(18.5%)  
(4) 事故原因別  
前方不注視・動静不注視9件(33.3%)、安全不確認4件(14.8%)、速度超過1件(3.7%)、横断歩行者等妨害等2件(7.4%)

### 3 路線別状況

- (1) 国道9号  
国道9号で発生している事故のうち、追突事故が5件(38.5%)、正面衝突が3件(23.1%)でほぼ半数を占めている。  
時間帯は、8時から12時が5件(38.5%)、12時から16時が4件(30.7%)と通勤時間や昼間時間帯の事故が多い。
- (2) 市道  
市道で4件(14.8%)の事故が発生しており、うち追突事故が2件(50%)発生している。

### 4 住民要望等

- (1) 県道浜田商港線、市道七条38号の通学路での速度違反取締り要望  
(2) 浜田市中心市街地での横断歩行者等妨害等、指定方向外進行禁止、一時不停止取締り要望  
(3) 周布小学校・浜田第三中学校周辺での一時不停止取締り要望

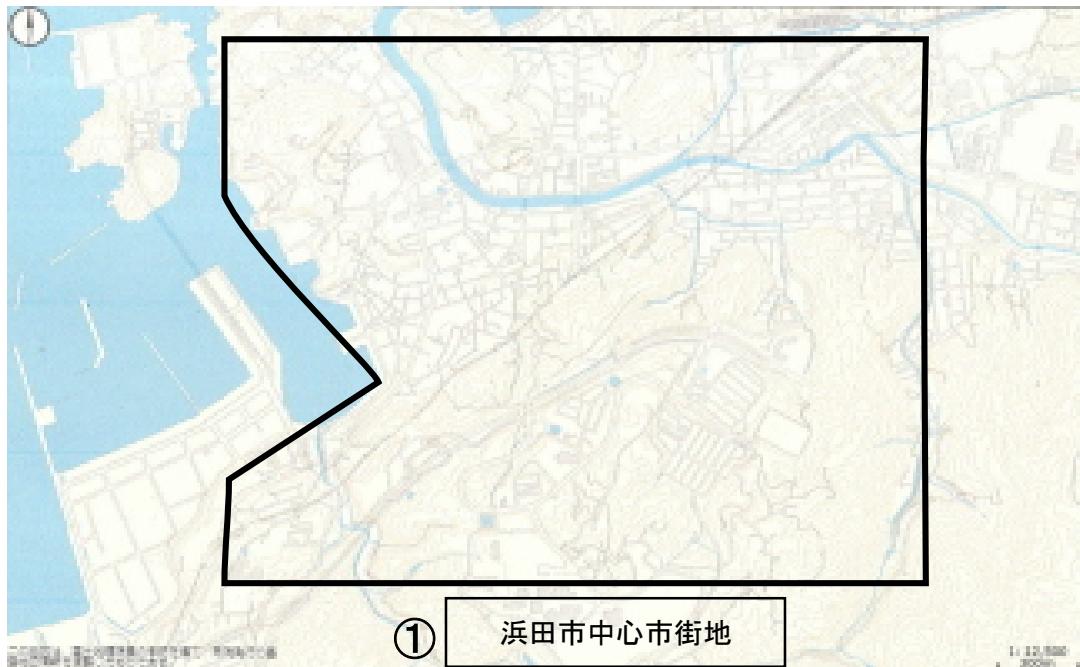
#### ○ 重点路線

	路線名	規制速度	重点時間	指定理由
①	国道9号	50・法定	8～12	事故多発
			16～18	
②	国道186号	50	8～10	事故多発
			13～18	
③	県道浜田商港線	40	7～9	通学路・住民要望
			15～18	
④	市道七条38号	40	7～9	通学路・住民要望
			15～18	



○ 重点エリア

	エリア	重点対象違反
①	浜田市中心市街地	交差点関連違反、携帯電話使用等
②	周布小・浜田三中周辺	交差点関連違反、携帯電話使用等



指定した路線・区域・交差点・時間帯など以外におきましても、ランダムな取締り等を実施します。交通事故を防止するため、表記された路線、時間帯以外におきましても、常に安全運転を心掛けていただきますようお願いします。